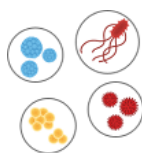


新型コロナウイルス感染症について

新型コロナウイルス感染症とは？

現在、世界中で新型コロナウイルス感染症が流行しています。2019年12月以降、中華人民共和国湖北省武漢市からの報告に始まり、現在は全世界に拡大している“SARS-CoV-2”というウイルスによる感染症です。国内では、2020年1月に国内1例目の新型コロナウイルス感染症陽性者発生後、3月より徐々に陽性者数が増加し、4月7日には緊急事態宣言が発出されました。5月以降、新規陽性者数は落ち着きをみせ、5月25日に緊急事態宣言が解除されました。しかしながら、6月下旬より、再度、新規陽性者数が増加傾向となり、8月は流行『第2波』と呼ばれる程、新規陽性者が増加しました、9月以降、やや落ちつきをみせたものの11月に入り、再度新規陽性者が増加、『第3波』は、12月から年末にかけ、全国各地で新規陽性者数の過去最多を日々更新しています。



発熱、咳、鼻水、のどの痛みなどの“かぜ症状”や、味覚障害・嗅覚障害などが出てきた方は、自分やご家族が新型コロナウイルス感染症ではないかと、不安になってしまうかもしれません。しかし、これらの“かぜ症状”を引き起こす病気は、新型コロナウイルス感染症以外にも、インフルエンザ、ウイルス性・細菌性咽頭炎、マイコプラズマ肺炎など、たくさんの疾患があります。治療法がある、もしくは、自然に治癒する病気も多いため、かかりつけ医などへ相談しましょう。また、新型コロナウイルス感染症についての“正確な知識・情報”を確認し、必要以上に不安にならないよう、冷静に対応しましょう。



いやなが保育園では、秋以降ほぼ全員の園児が、感冒をはじめとする様々な不調を発症し、保育を必要とする皆さんには厳しい状況が多々あったと存じております。各ご家庭の多大なるご理解・ご協力に、心より感謝申し上げます。いやなが保育園では、皆さんに安心して保育園をご利用いただけるよう、新型コロナウイルス感染症に対する感染対策を継続中です。送迎時のマスク着用、手指衛生、職員・保護者間のソーシャルディスタンス、短時間での対面引き渡し、体調不良（いつもと違う）時は無理せず様子見の休養など、年明けからの感染対策に引き続きご協力を宜しくお願い致します。

どうやってうつる？

くしゃみ、咳、大声で話した時のつばなど、“飛沫(しぶき)”を介して、ウイルスを吸い込む「**飛沫感染**」と、ウイルスを含む飛沫が付着したドアのノブや手すりなどを介して(手で触り、その手で口や鼻、目などの粘膜を触る)、ウイルスが体の中に入る「**接触感染**」により、うつります。換気の悪い密閉された空間では、

“飛沫”よりさらに小さい「エアロゾル(もしくは飛沫核)による感染」の可能性があるため、マスク着用と十分な換気が重要です。“3つの密”が重なる際は、感染リスクがさらに高くなると考えられています。

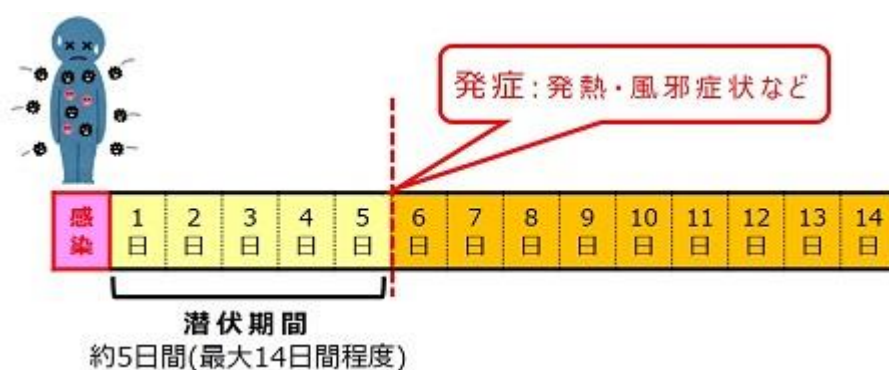


症状

発熱、倦怠感、咳、鼻水、のどの痛み、筋肉痛などが主な症状となります。

★下痢、嘔気などの消化器症状、頭痛、味覚障害・嗅覚障害(味やにおいが感じにくい)といった症状を認める方もおられます。

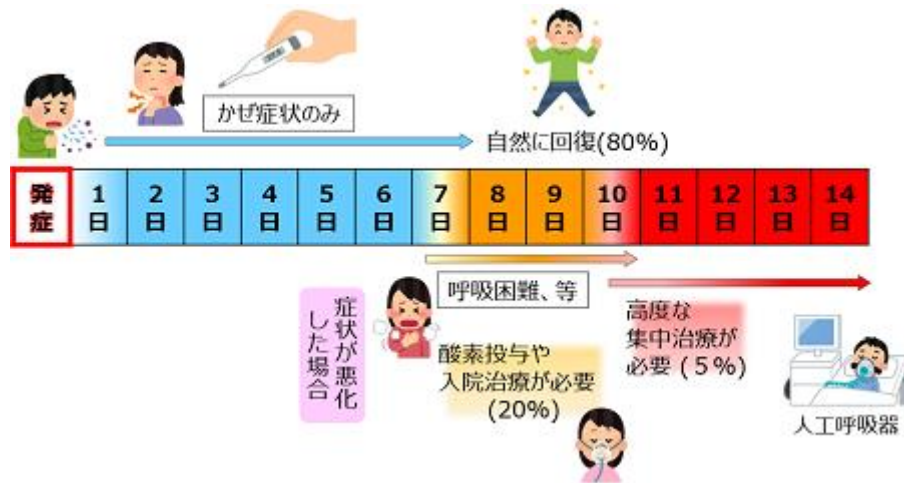
潜伏期間



体に入って(感染)から症状が出る(発症)までは、約5日間(最大14日間程度)と言われております。

経過

症状は、4～5日程度で自然に軽快するインフルエンザなどと比べて、長く続くことがあります。発熱・倦怠感がある場合は、1週間以上持続することがあります。咳も同様に、長引くことがあります。その他、鼻水、のどの痛み、下痢、味覚障害・嗅覚障害などが出る方もおられます。症状が悪化する場合は、症状が始まった日から7～10日頃に、急に呼吸が苦しくなり、15～20%程度の方は酸素投与が必要となり、5%程度の方は集中治療が必要となることがあります。心疾患・糖尿病がある方、高齢の方は症状が悪化するリスクとなります。しかし、風邪・インフルエンザのような症状のみで自然に治癒と言われております。



- **軽症: 80%**
“かぜ症状”のみで、自然に回復
- **中等症: 20%**
特に心疾患・呼吸器疾患・糖尿病がある方、高齢の方では、酸素投与が必要となり、入院治療が必要となることがある
- **重症: 5%**
気管挿管・人工呼吸器(機械で呼吸をサポートする)などの高度な集中治療が必要となることがある

検査

新型コロナウイルス(ウイルス名: SARS-CoV-2)感染症を診断するための検査には【抗原検査】・【PCR 検査】などがあります。



“抗原検査”とは

検体に含まれているウイルス性特有のタンパク質を確認する検査です。

- **《陽性の場合》:**
新型コロナウイルス感染症の“**確診断**”となります。
- **《陰性の場合》:**
完全に感染症を否定できません。 場合により、PCR 検査を追加する場合があります。引き続きの体調観察が必要です。

“PCR 検査”とは

検体に含まれているウイルスの遺伝子を増やして確認する検査です。

- **《陽性の場合》**：
新型コロナウイルス感染症の“確定診断”となります。
- **《陰性の場合》**：
COVID-19 である可能性は低いと判断しますが、**完全にこの感染症を否定することはできません(感度は 70%程度)**。



治療・予防

エボラ治療薬(レムデシビル(ベクルリー®): 保険適応)、抗インフルエンザ薬(ファビピラビル(アビガン®))、抗 HIV 薬、気管支喘息の吸入薬、肺炎の薬などに効果がある可能性があります。現時点で特効薬と言われる薬剤はありません。一方で、感染予防のためのワクチン開発が急ピッチで進められ、いよいよ実用段階に入っています。まずは医療関係者、次いで老人・基礎疾患のある方など、感染リスクの高い対象から優先的に、接種する計画がすすめられています。



いやなが保育園を利用される皆さまへ

各ご家庭へのお願い

新型コロナウイルス感染症が流行しても、保育園が通常の保育業務を継続するためには、園内感染・職員の感染を起こさないようにしなければなりません(ライフラインをはじめとする様々なお仕事・病気療養中などのご事情で、どのご家庭もそれぞれに保育を継続する必要があります)。保育園内で新型コロナウイルス感染症を拡げないためにも、感染対策にご理解とご協力をお願いいたします。

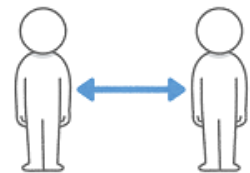
* 詳細については、[厚生労働省 新型コロナウイルス感染症 Q&A](#) をご参照ください。



- 送迎時は、症状の有無に関わらず、必ず『マスクを着用』してください。
※マスクをお持ちでない方は、園にありますのでマスク購入をお願いしています
- 登園・退園時、門戸に設置のアルコールジェルで『手指衛生』をお願いいたします。
※アルコールにアレルギーのある方は、ご自身の消毒用品ご使用をお願いいたします
- 発熱(37.5度以上から24時間を含む日まで)、かぜ(特に咳)症状のあるお子さんには、お休みをお願い致します。保育中、『明らかにいつもと違う』『活動に支障が出るほどの症状(鼻水が止まらず飛び散ってしまうなど)』では、line等でお子さんの体調をご報告し、早めのお迎えにご協力いただくことがあります。
※症状悪化予防と早期回復のため・感染拡大防止のために、早めのタイミングで大事をとってお休みし、家でゆっくり過ごされる事をおすすめしています。

★発生状況など、新型コロナウイルス感染症の詳細については、[厚生労働省のホームページ](#)をご参照ください。

ご注意いただきたい点



“かぜ症状”のある皆様は、以下の注意点に気を付けてください。

自宅で療養し、外出を控えるとともに、なるべく家族以外の人と会わないように注意してください。(うつさないように注意!) 自分がうつらないように、また相手にうつさないようするために[“3つの密”\(密閉空間、密集場所、密接場面\)](#)を避けることが重要です。

- 手洗いや咳エチケット(マスクやティッシュ、ハンカチ、袖、肘の内側で口や鼻を抑えること)を心がけましょう。
- 新型コロナウイルス感染症は症状がなかったり、軽症なことも多いですが、基礎疾患のある方、高齢者が感染すると命に関わる場合もあります。
これらの方にうつさない、また感染が拡大しないよう、症状がある方は自宅で休みましょう(自分は大丈夫でも、他の方にうつしてしまうリスクがあります!)
- 今の症状が、何の病気かわからないというのは不安かと思いますが、新型コロナウイルス感染症の患者さんの約8割は軽症で経過し、安静にしていれば、自然に軽快することが報告されています。
- ご家族に新型コロナウイルス感染が疑われる場合、以下 [家庭内でご注意いただきたい～8つのポイント～](#)をご参照ください。

1. 部屋を分けましょう

2. 感染者のお世話はできるだけ限られた方で
3. マスクをつけましょう
4. こまめに手を洗いましょう
5. 換気をしましょう
6. 手で触れる共有部分を消毒しましょう
7. 汚れたリネン、衣服を洗濯しましょう
8. ゴミは密閉して捨てましょう



(詳細は[厚労省ホームページ](#)(PDF)をご確認ください)

コロナの今年、多くのご理解・ご協力をありがとうございました。
新しい年も、健やかな笑顔でお会いできることを楽しみにしています。
皆さまどうぞ、温かい年末年始をお迎えくださいませ。

※この資料は、関東労災病院 HP より一部抜粋・引用し、いやなが保育園の保護者の皆さま向けに編集作成したものです。